



◎検証テーマ別

検証テーマ	社会背景 環境変化	現行の将来構想期間(H13~22年度)における高校教育改革の取組内容		新将来構想 の目指す姿	期待される成果(アウトカム)	検証項目の候補(案)																																																																																																									
		施策目的	取組施策(目標)			教育庁	各高校																																																																																																								
1. 普通教育と専門教育の体制整備	<p>○高校への進学率は98%になり、生徒の能力・適性、興味・関心が多様化</p> <p>○高校間の分業化が進む。中心的基準は偏差値。</p> <p>※国は、高校教育について、「多様化・選択の幅の拡大」の理念の下、多様なゴールを用意。</p>	<p>○多様な生徒の実態に対応して、各学校が生徒それぞれの能力・適性を最大限伸ばせる高校づくりをする。</p> <p>特色ある学科の設置</p>	<p>①各地区に1校以上総合学科を設置</p> <p>総合学科 普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科-各教科・科目を選択履修とし原則として単位制とすることや、『産業社会と人間』を履修する。</p>	<p>○学科の設置、改編</p> <p>○学校再編、学科改編による教育環境・教育内容の充実</p>	<p>○社会人として必要な一般的な教養、専門的な知識・技能、学際的な知識・技能を併せ持つ人材を育成している。</p> <p>○社会に貢献する意欲・態度を育成している。</p> <p>○生徒それぞれが自分の興味・関心に応じた科目を選択している。</p> <p>○生徒それぞれが自分の興味・関心に応じた科目を選択している。</p> <p>○生徒それぞれが、学年による区分なく、自身の学習計画に基づいて学習している。</p> <p>○将来のスペシャリストとして必要とされる専門知識・技能のうち、基礎的・基本的なものを重点的に定着させている。</p> <p>○就業体験や実習を多く取り入れた学習を通じて着実に知識・技能を定着させている。</p> <p>○社会の変化、産業の高度化・多様化に対応している。 (中間アウトカム) ・社会の動向に合致したカリキュラムを編成している。 ・地域・産業界との連携体制が構築されている。</p>	<p>○産業構造・地域のニーズを踏まえた学科・教育課程となっているか。 ・専門学科の教育目標 ・職業系専門学科(農業、工業、商業、水産)の教育課程(カリキュラムの内容、単位数) ・県の産業振興・産業人材育成施策とのリンク ・卒業生の就職状況</p>	<p>○総合学科・単位制などの新しいタイプの高校について、設置の趣旨(理念)に合ったカリキュラムが編成されているか。 ・科目の多様性の確保 ・教員の学校の特色・地域における役割に対する理解 ・生徒・保護者への履修ガイダンスの実施状況</p>																																																																																																								
			<p>②各地区に複数の単位制高校の設置</p> <p>単位制高校 学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高校</p>			<p>③専門学科の設置及び改編</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地区(学区)名</th> <th colspan="2">全日制</th> <th colspan="2">定時制</th> </tr> <tr> <th>H12年度以前</th> <th>H13年度以降</th> <th>H12年度以前</th> <th>H13年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南部</td> <td>伊具、村田</td> <td>白石</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中部南</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中部北</td> <td>宮城野</td> <td>宮城第一</td> <td>貞山</td> <td></td> </tr> <tr> <td>北部</td> <td>小牛田農林</td> <td>追桜</td> <td></td> <td>田尻さくら</td> </tr> <tr> <td>東部</td> <td>本吉響</td> <td>石巻好文館、石巻北</td> <td></td> <td>東松島</td> </tr> </tbody> </table>	地区(学区)名	全日制		定時制		H12年度以前	H13年度以降	H12年度以前	H13年度以降	南部	伊具、村田	白石			中部南					中部北	宮城野	宮城第一	貞山		北部	小牛田農林	追桜		田尻さくら	東部	本吉響	石巻好文館、石巻北		東松島	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">学校名</th> <th colspan="2">学科改編等の内容</th> </tr> <tr> <th>改編前</th> <th>改編後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H13</td> <td>飯野川</td> <td>家政科</td> <td>生活福祉科</td> </tr> <tr> <td>加美農業</td> <td>生物工学科</td> <td>(廃止)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">H14</td> <td>白石工業</td> <td>機械科</td> <td>機械科(生産技術コース・創製技術コース)</td> </tr> <tr> <td>黒川</td> <td>環境工学科</td> <td>土木科</td> </tr> <tr> <td>白石女子</td> <td>衛生看護科</td> <td>看護科</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H15</td> <td>米谷工業</td> <td>電子機械科・電気科・情報電子科</td> <td>機械システム科・電気システム科・情報技術科</td> </tr> <tr> <td>石巻工業</td> <td>機械科、電気科、工業化学科、土木科</td> <td>機械制御科、電気情報科、化学技術科、土木システム科、建築科</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H16</td> <td>宮城野</td> <td>理数科</td> <td>(廃止)</td> </tr> <tr> <td>宮城野</td> <td>普通科経済教養コース・人文教養コース・理数教養コース</td> <td>(コース制廃止:普通科に)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H18</td> <td>宮城野</td> <td>普通科人文国際コース・理数情報コース</td> <td>(コース制廃止:普通科に)</td> </tr> <tr> <td>米山</td> <td>産業技術科</td> <td>農業ビジネス科</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H20</td> <td>白石工業</td> <td>機械科(生産技術コース・制御技術コース)</td> <td>(コース制廃止:機械科に)</td> </tr> <tr> <td>田尻</td> <td>商業科</td> <td>(廃止:田尻さくら普通科に)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H21</td> <td>宮城野</td> <td>機械科・電子科</td> <td>(廃止:岩ヶ崎創造工学科に)</td> </tr> <tr> <td>中野田</td> <td>普通科・商業科</td> <td>普通科(ビジネスコース・アカデミックコース)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H22</td> <td>塩釜</td> <td>商業科</td> <td>ビジネス科</td> </tr> <tr> <td>黒川</td> <td>農業経営科・電子機械科・土木科</td> <td>機械科・電子工学科・環境技術科</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>石巻北</td> <td>普通科・農業科</td> <td>総合学科</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	学校名	学科改編等の内容		改編前	改編後	H13	飯野川	家政科	生活福祉科	加美農業	生物工学科	(廃止)	H14	白石工業	機械科	機械科(生産技術コース・創製技術コース)	黒川	環境工学科	土木科	白石女子	衛生看護科	看護科	H15	米谷工業	電子機械科・電気科・情報電子科	機械システム科・電気システム科・情報技術科	石巻工業	機械科、電気科、工業化学科、土木科	機械制御科、電気情報科、化学技術科、土木システム科、建築科	H16	宮城野	理数科	(廃止)	宮城野	普通科経済教養コース・人文教養コース・理数教養コース	(コース制廃止:普通科に)	H18	宮城野	普通科人文国際コース・理数情報コース	(コース制廃止:普通科に)	米山	産業技術科	農業ビジネス科	H20	白石工業	機械科(生産技術コース・制御技術コース)	(コース制廃止:機械科に)	田尻	商業科	(廃止:田尻さくら普通科に)	H21	宮城野	機械科・電子科	(廃止:岩ヶ崎創造工学科に)	中野田	普通科・商業科	普通科(ビジネスコース・アカデミックコース)	H22	塩釜	商業科	ビジネス科	黒川	農業経営科・電子機械科・土木科	機械科・電子工学科・環境技術科				石巻北	普通科・農業科
地区(学区)名	全日制		定時制																																																																																																												
	H12年度以前	H13年度以降	H12年度以前	H13年度以降																																																																																																											
南部	伊具、村田	白石																																																																																																													
中部南																																																																																																															
中部北	宮城野	宮城第一	貞山																																																																																																												
北部	小牛田農林	追桜		田尻さくら																																																																																																											
東部	本吉響	石巻好文館、石巻北		東松島																																																																																																											
年度	学校名	学科改編等の内容																																																																																																													
		改編前	改編後																																																																																																												
H13	飯野川	家政科	生活福祉科																																																																																																												
	加美農業	生物工学科	(廃止)																																																																																																												
H14	白石工業	機械科	機械科(生産技術コース・創製技術コース)																																																																																																												
	黒川	環境工学科	土木科																																																																																																												
	白石女子	衛生看護科	看護科																																																																																																												
H15	米谷工業	電子機械科・電気科・情報電子科	機械システム科・電気システム科・情報技術科																																																																																																												
	石巻工業	機械科、電気科、工業化学科、土木科	機械制御科、電気情報科、化学技術科、土木システム科、建築科																																																																																																												
H16	宮城野	理数科	(廃止)																																																																																																												
	宮城野	普通科経済教養コース・人文教養コース・理数教養コース	(コース制廃止:普通科に)																																																																																																												
H18	宮城野	普通科人文国際コース・理数情報コース	(コース制廃止:普通科に)																																																																																																												
	米山	産業技術科	農業ビジネス科																																																																																																												
H20	白石工業	機械科(生産技術コース・制御技術コース)	(コース制廃止:機械科に)																																																																																																												
	田尻	商業科	(廃止:田尻さくら普通科に)																																																																																																												
H21	宮城野	機械科・電子科	(廃止:岩ヶ崎創造工学科に)																																																																																																												
	中野田	普通科・商業科	普通科(ビジネスコース・アカデミックコース)																																																																																																												
H22	塩釜	商業科	ビジネス科																																																																																																												
	黒川	農業経営科・電子機械科・土木科	機械科・電子工学科・環境技術科																																																																																																												
			石巻北	普通科・農業科	総合学科																																																																																																										
		<p>○大衆化した高等学校には、能力、適性、進路、興味、関心等の極めて多様な生徒が入学している。したがって、その教育の水準や内容については、一律に固定的に考えるべきものではなく、生徒の実態に対応し、できる限り幅広く、柔軟な教育を実施することが必要となっている。</p> <p>○生徒一人ひとりに対して、自分の興味、関心や進路に基づく主体的な学習を促し、それぞれの個性を最大限に伸ばさせるための選択の幅の広い教育を推進していくことが大切である。</p>	<p>④全日制高校の充実</p> <p>①普通科の特色づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な選択教科・科目の開設 類型制の導入 <p>②専門学科・総合学科の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の動向や産業構造の変化に対応した教育課程の見直し 地域社会や企業、大学等の教育機関等との相互協力による体験学習の実施 	<p>・学校設定科目の開設 (H23年度予定)81校中53校でのべ267科目 設置校率 普通科42.4% 専門学科(職業系以外)87.5% 専門学科(職業系)55.2% 総合学科85.7%</p> <p>・県内14大学と高大連携事業に係る協定締結(H16年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「クラフトマン21事業」(H20年度~) 技術者による工業高校生への実践指導 最新工作機械(旋盤又はフライス盤)の導入(H20~H22年度:各2校) インターンシップの実施(H21年度:派遣生徒数 458人) 	<p>学校設定科目 各学校が必要に応じて設定する科目。大学入試対策、教養を深めるため、基礎学力をつけるためなどの目的により設置。</p>																																																																																																										

検証テーマ	社会背景 環境変化	現行の将来構想期間(H13~22年度)における高校教育改革の取組内容		新将来構想 の目指す姿	期待される成果(アウトカム)	検証項目の候補(案)																																																																																																																																									
		施策目的	取組施策(目標)			取組施策(アウトプット)	教育庁	各高校																																																																																																																																							
1. 普通教育と専門教育の体制整備(つづき)		○多様な生徒の実態に対応して、各学校が生徒それぞれの能力・適性を最大限伸ばせる高校づくりをする。(つづき)	定時制高校及び通信制高校の充実	<ul style="list-style-type: none"> ①少人数(40人未満)学級編制の可能性検討 <table border="1"> <tr><th>学級人数</th><th>学級数</th></tr> <tr><td>25人以下</td><td>8</td></tr> <tr><td>26~30人</td><td>2</td></tr> <tr><td>31~35人</td><td>3</td></tr> <tr><td>36~40人</td><td>8</td></tr> <tr><td>計</td><td>21</td></tr> </table> ②昼夜間定通併修独立校(定時制と通信制を併設した高校)の設置の検討 	学級人数	学級数	25人以下	8	26~30人	2	31~35人	3	36~40人	8	計	21	<ul style="list-style-type: none"> ・全11校(1年次21学級)の学級編成状況(H22年度) <table border="1"> <tr><th>学級人数</th><th>学級数</th></tr> <tr><td>25人以下</td><td>8</td></tr> <tr><td>26~30人</td><td>2</td></tr> <tr><td>31~35人</td><td>3</td></tr> <tr><td>36~40人</td><td>8</td></tr> <tr><td>計</td><td>21</td></tr> </table> (注)単位制高校については、便宜的に生徒数を学級数で割って算出している。 ・通信制独立校として、H24年度に開校予定(名取市美田園) 	学級人数	学級数	25人以下	8	26~30人	2	31~35人	3	36~40人	8	計	21	<ul style="list-style-type: none"> ○学科の設置、改編(つづき) ○学校再編、学科改編による教育環境・教育内容の充実(つづき) 	<ul style="list-style-type: none"> ○勤労青年の学習の機会を保障している。 ○社会人や様々な学習歴を有する生徒の学習の機会を保障している。 	同上	同上																																																																																																														
			学級人数	学級数																																																																																																																																											
25人以下	8																																																																																																																																														
26~30人	2																																																																																																																																														
31~35人	3																																																																																																																																														
36~40人	8																																																																																																																																														
計	21																																																																																																																																														
学級人数	学級数																																																																																																																																														
25人以下	8																																																																																																																																														
26~30人	2																																																																																																																																														
31~35人	3																																																																																																																																														
36~40人	8																																																																																																																																														
計	21																																																																																																																																														
中高一貫教育及び中高連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ①中高一貫教育校の設置 <table border="1"> <tr><td>東部</td><td>志津川(連携型)(H15)</td></tr> <tr><td>北部</td><td>古川黎明(H17)</td></tr> <tr><td>中部南</td><td>第二女子(仙台二華)(H22)</td></tr> </table> ②中高を通じた継続的・系統的な指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・中高合同授業研究の実施 H21年度:●●校 	東部	志津川(連携型)(H15)	北部	古川黎明(H17)	中部南	第二女子(仙台二華)(H22)	<ul style="list-style-type: none"> ○中高の6年間を通じ計画的・継続的に教育している。 ○中高接続が円滑に行われている。 																																																																																																																																							
東部	志津川(連携型)(H15)																																																																																																																																														
北部	古川黎明(H17)																																																																																																																																														
中部南	第二女子(仙台二華)(H22)																																																																																																																																														
	○生徒数の減少に伴い、学校規模が縮小し、多様な教育活動に制約が生じた。	○生徒減少期において、活力ある教育環境を整備・維持する。	全日制高校の適正配置	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒減少への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の年度ごとの入学見込者数、生徒・保護者のニーズ、学科のバランスなどを勘案して学級減 (学級減・学校再編の方針) ・1学年6学級規模程度の学校を各地区に配置 ・1学年6学級未満でも、学科バランスや地理的条件を勘案して配置を検討 ・1学年1~2学級の学校は原則として再編 ②学校の適正配置 <ul style="list-style-type: none"> ・各地区内の高校全てが小規模校となってしまうよう再編を行う。 ・地区の事情により1学年6学級未満の学校もバランスよく配置するように努める。 ○普通科(総合学科を含む)の比率が下がらないよう配慮する。 ○コース、系列、類型などの制度を活用することで専門学科の教育内容が著しく低下することがないように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級減の状況 <ul style="list-style-type: none"> 平成12年度を基準として22年度までに県立高校に関し全体で95学級を減じた。 学校、地域の関係者とも十分に相談しながら学級減を実施している。 ・学校規模(1学年)別の公立高校 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">再編前</th> <th colspan="2">再編後</th> <th colspan="4">学校規模(1学年)別の公立高校</th> </tr> <tr> <th>再編前</th> <th>再編後</th> <th>再編前</th> <th>再編後</th> <th colspan="2">学校数</th> <th colspan="2">割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">H17</td> <td>角田</td> <td>角田</td> <td>1</td> <td>1</td> <td rowspan="9">46.8</td> <td rowspan="9">52.7</td> <td rowspan="9">53.4</td> <td rowspan="9">47.3</td> </tr> <tr><td>角田女子</td><td>角田</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>築館</td><td>築館</td><td>2</td><td>5</td></tr> <tr><td>築館女子</td><td>築館</td><td>17</td><td>11</td></tr> <tr><td>気仙沼</td><td>気仙沼</td><td>10</td><td>8</td></tr> <tr><td>開ヶ浦</td><td>開ヶ浦</td><td>10</td><td>14</td></tr> <tr><td>矢本(全日・定時)</td><td>東松島(昼夜間開講 定時制)</td><td>17</td><td>11</td></tr> <tr><td>石巻(定時)</td><td>石巻女子(定時)</td><td>10</td><td>17</td></tr> <tr><td>宮城農業秋桜校</td><td>募集停止</td><td>18</td><td>6</td></tr> <tr> <td rowspan="2">H19</td> <td>黒川大船校</td><td>募集停止</td><td>4</td><td>1</td> <td>1校平均</td><td>5.49学級</td><td>5.26学級</td><td>-</td><td>-</td> </tr> <tr> <td>白石(定時)</td><td>大河原商業(定時)</td><td>88</td><td>74</td><td>学校数</td><td>88</td><td>74</td><td>-</td><td>-</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>坂野川</td><td>募集停止</td><td colspan="6">*学校数は募集停止校を除く。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H21</td> <td>岩ヶ崎</td><td>岩ヶ崎</td><td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>霧沢工業</td><td>岩ヶ崎</td><td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">H22</td> <td>白石</td><td>白石</td><td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>白石女子</td><td>白石</td><td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>塩釜</td><td>塩釜</td><td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>塩釜女子</td><td>塩釜</td><td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table> 	年度	再編前		再編後		学校規模(1学年)別の公立高校				再編前	再編後	再編前	再編後	学校数		割合(%)		H17	角田	角田	1	1	46.8	52.7	53.4	47.3	角田女子	角田	2	1	築館	築館	2	5	築館女子	築館	17	11	気仙沼	気仙沼	10	8	開ヶ浦	開ヶ浦	10	14	矢本(全日・定時)	東松島(昼夜間開講 定時制)	17	11	石巻(定時)	石巻女子(定時)	10	17	宮城農業秋桜校	募集停止	18	6	H19	黒川大船校	募集停止	4	1	1校平均	5.49学級	5.26学級	-	-	白石(定時)	大河原商業(定時)	88	74	学校数	88	74	-	-	H20	坂野川	募集停止	*学校数は募集停止校を除く。						H21	岩ヶ崎	岩ヶ崎							霧沢工業	岩ヶ崎							H22	白石	白石							白石女子	白石							塩釜	塩釜							塩釜女子	塩釜							<ul style="list-style-type: none"> ○県内のどの地域においても普通教育・専門教育を受ける機会を保障している。(中間アウトカム) <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの多様性を確保している。 ・課外活動が充実している。 ・生徒間の多様な個性が触れ合い、切磋琢磨する場を確保している。 ○地域の交通の利便性や通学可能エリアを考慮して学校・学科等を配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級減・学校再編に伴い教育機能が発揮されているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム編成 ・科目開設数 ・1教科当たりの教員配置数 ・部活動数 ・図書蔵書数 ・生徒一人当たり運営経費 ○通学保証など機会均等の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・通学時間・手段
年度	再編前		再編後		学校規模(1学年)別の公立高校																																																																																																																																										
	再編前	再編後	再編前	再編後	学校数		割合(%)																																																																																																																																								
H17	角田	角田	1	1	46.8	52.7	53.4	47.3																																																																																																																																							
	角田女子	角田	2	1																																																																																																																																											
	築館	築館	2	5																																																																																																																																											
	築館女子	築館	17	11																																																																																																																																											
	気仙沼	気仙沼	10	8																																																																																																																																											
	開ヶ浦	開ヶ浦	10	14																																																																																																																																											
	矢本(全日・定時)	東松島(昼夜間開講 定時制)	17	11																																																																																																																																											
	石巻(定時)	石巻女子(定時)	10	17																																																																																																																																											
	宮城農業秋桜校	募集停止	18	6																																																																																																																																											
H19	黒川大船校	募集停止	4	1	1校平均	5.49学級	5.26学級	-	-																																																																																																																																						
	白石(定時)	大河原商業(定時)	88	74	学校数	88	74	-	-																																																																																																																																						
H20	坂野川	募集停止	*学校数は募集停止校を除く。																																																																																																																																												
H21	岩ヶ崎	岩ヶ崎																																																																																																																																													
	霧沢工業	岩ヶ崎																																																																																																																																													
H22	白石	白石																																																																																																																																													
	白石女子	白石																																																																																																																																													
	塩釜	塩釜																																																																																																																																													
	塩釜女子	塩釜																																																																																																																																													
	定時制高校・通信制高校の適正配置	<ul style="list-style-type: none"> ①仙台南地区・仙台北地区における昼夜間定通併修独立校の設置を目指す。 ②仙台南・北地区以外での、昼夜間開講する新しいタイプの定時制独立校設置に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通信制独立校として、H24年度に開校予定(名取市美田園) ・昼夜間開講型の定時制・単位制高校の設置 <ul style="list-style-type: none"> H13年度:1校 → H22年度:3校(県立校のみ) <table border="1"> <tr><td>中部北</td><td>貞山</td></tr> <tr><td>東部</td><td>東松島(H17)</td></tr> <tr><td>北部</td><td>田尻さくら(H20)</td></tr> </table> 	中部北	貞山	東部	東松島(H17)	北部	田尻さくら(H20)	<ul style="list-style-type: none"> ○定時制・多部制定時制高校の地域バランスを確保している。 																																																																																																																																					
中部北	貞山																																																																																																																																														
東部	東松島(H17)																																																																																																																																														
北部	田尻さくら(H20)																																																																																																																																														

検証テーマ	社会背景 環境変化	現行の将来構想期間(H13～22年度)における高校教育改革の取組内容			新将来構想 の目指す姿	期待される成果(アウトカム)	検証項目の候補(案)																														
		施策目的	取組施策(目標)	取組施策(アウトプット)			教育庁	各高校																													
2. 男女共学化	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会に向けた取組の推進 公教育の共学化の趨勢 	<ul style="list-style-type: none"> 性別による入学制限を撤廃する。 生徒数の減少に対応するために高校の再編を進める。 	男女共学化	<ul style="list-style-type: none"> 校舎の改築や学科改編、再編などを機に、対象校ごとに関係者の理解を得ながら、H22年度までに全ての県立高校を男女共学化する。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>統合共学化</th> <th>単独校の共学化</th> <th>中高一貫校への改編</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>角田・角田女子 築館・築館女子 気仙沼・碧が浦</td> <td>古川</td> <td>古川女子</td> </tr> <tr> <td>H18</td> <td></td> <td>石巻 石巻女子 石巻商業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td></td> <td>仙台第二</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td></td> <td>第一女子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td></td> <td>仙台第三</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>白石・白石女子 塩釜・塩釜女子</td> <td>仙台第一 第三女子</td> <td>第二女子</td> </tr> </tbody> </table>		統合共学化	単独校の共学化	中高一貫校への改編	H17	角田・角田女子 築館・築館女子 気仙沼・碧が浦	古川	古川女子	H18		石巻 石巻女子 石巻商業		H19		仙台第二		H20		第一女子		H21		仙台第三		H22	白石・白石女子 塩釜・塩釜女子	仙台第一 第三女子	第二女子	—	<ul style="list-style-type: none"> 性別にかかわらず、生徒それぞれの能力・適性を最大限伸ばせる教育環境を用意できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 制度改革の目的を実現するための取組をしているか。 <ul style="list-style-type: none"> 教育機会の公平性・平等性の確保 多様な生徒それぞれの希望に対応した学校選択・教育機会が確保されているか。 <ul style="list-style-type: none"> 志望倍率 通学時間・手段 	<ul style="list-style-type: none"> 制度改革の意図が実現されているか。 <ul style="list-style-type: none"> 男女比率の推移 男女が共に学び、理解し、成長し合う場を日常的に設けられている。 制度改革により生じている課題は何か。 <ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者、同窓会、地域の要望・苦情の状況 教育の質が保証されているか。[*再掲] 生徒・同窓生の学校・授業に対する評価[*再掲]
	統合共学化	単独校の共学化	中高一貫校への改編																																		
H17	角田・角田女子 築館・築館女子 気仙沼・碧が浦	古川	古川女子																																		
H18		石巻 石巻女子 石巻商業																																			
H19		仙台第二																																			
H20		第一女子																																			
H21		仙台第三																																			
H22	白石・白石女子 塩釜・塩釜女子	仙台第一 第三女子	第二女子																																		
3. 全県一学区化	<ul style="list-style-type: none"> 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正(H13)により、都道府県に義務づけられていた公立高校の学区設置義務が廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の選択機会を拡大する。 	全県一学区化	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度入試から、全県一学区制を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある高校づくり支援事業の実施(H22年度:19校を指定) 時代や地域の要請に応じ、各校が、学術探究、デュアルシステム拡充、国際理解などの分野において特色ある高校づくりを行う。 進学拠点校学力向上事業の実施(11校を指定) 仙台市以外の地域の拠点校の学力向上と、仙台市への一極集中を防ぐため、拠点校を指定し、生徒の学習意欲と教員の指導力向上のための取組を実施する。 全県一学区制度について保護者・生徒・中学校への周知活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> 高校合同相談会の開催(H21年度:6会場、参加者数3,700人) 高校ガイドブックの作成・更新 	—	<ul style="list-style-type: none"> 高校の選択肢が拡大しているか。(中間アウトカム) <ul style="list-style-type: none"> 各校において魅力ある学校づくりが進んでいる。 志願者が特定の地区・学校に集中していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 制度改革の目的を実現するための取組をしているか。 多様な生徒それぞれの希望に対応した学校選択・教育機会が確保されているか。 <ul style="list-style-type: none"> 志望倍率 通学時間・手段 	<ul style="list-style-type: none"> 制度改革の意図が実現されているか。 <ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者の要望・苦情の状況 特定地区・高校への志願者の集中 生徒の出身市町村の推移 教育の質が保証されているか。[*再掲] 生徒・同窓生の学校・授業に対する評価[*再掲] 																												

◎検証の視点別

検証の視点	社会背景 環境変化	現行の将来構想期間(H13~22年度)における高校教育改革の取組内容			期待される成果(アウトカム)	検証項目の候補(案)		
		施策目的	取組施策(目標)	取組施策(アウトカム)		教育庁	各高校	
○高校教育の質の保証	○生徒の学力・学習意欲の低下 ○教育改革国民会議(H3~H5)・学びのすすめ ○高校入学者のうち、毎年2%が退学。 ○高卒就職者のうち、5割が3年内に離職。 ※国は、高校教育について、「多様化・選択の幅の拡大」の理念の下、多様なゴールを用意。高校教育の質保証については、各学校に委ねた。	多様な生徒の実態に対応して、各学校が生徒それぞれの能力・適性を最大限伸ばせる高校づくりをする。	多様な個性や特性に対応した教育の推進	①授業の内容・方法の改善、指導の多様化、評価の工夫 ・特色ある学校づくりに向けた高校への支援事業 「みやぎ高校いきいき夢プラン事業」(H15~17年度) 「学校活性化プロポーザル事業」(H15~18年度) 「個性かがやく高校づくり推進事業」(H19~21年度) ・「学力向上推進事業(分かる授業の実践)」 ・主任研修会 ・公開研究授業(H21年度:27校実施) ・地域・小中高と一体となった授業改善プロジェクト「Sanuma授業塾」の実施 ・「オンデマンド事業」 ・授業力向上のために学校からの要請に応じた指導専事派遣(25校/年程度) ・「みやぎ学力状況調査」(H17年度~) ・全日制1年生全員を対象に3教科及び生活習慣調査を実施し、指導に活用 ・国際理解、情報、環境、福祉、健康等の総合的・横断的な課題に取り組む。 ・教師の授業実践力を高める研修体制の整備 ・学校種を越えた授業交流の推進 ・授業力の向上や中高を通じたカリキュラムの研究等の実施 ②特別活動等の充実 ・学校行事や生徒会活動を推進する支援体制の整備 ・「みやぎアドベンチャープログラム」の全県的な導入 ③部活動の在り方の検討 ・個別の学校の枠を越えた部活動・社会教育の在り方の検討 ④教育相談機能の充実 ・全県立高校にスクールカウンセラーの配置 ・教職員のカウンセリングマインドを育成する研修の実施 ⑤生き方・在り方に踏み込んだ進路指導の充実 ・体験学習や職場体験の導入	・情報リテラシー向上の取組 ・ICTを活用した「わかる授業」の展開(教員が授業でICTを活用した割合 H21年度:55.2%) ・情報モラル教育 ・「教職員キャリアアッププログラム事業」 ・工業等の専門教科担当職員を10日間程度、県内外の企業に派遣し、最新技術の習得を図る。 平成21年度:派遣教員数 39名(10校) 派遣企業数 21企業等 ・新規採用実習助手研修会、随時的任用教員研修会(平成22年度:●●) ← 研修会の開催数又は受講者数 ・コミュニケーション可能な英語力の習得に向けた指導者研修(平成22年度:●●) ・宮城教育大学との連携によるSanuma授業塾(地域・小中高と一体となった授業改善プロジェクト)の実施(再掲) ・近隣の小中学校との連携による授業研究の実施(平成22年度:●●校実施) ・特別活動教育研究会の開催(H22年度:教員●●名参加) ・MAP実践者の育成 指導者(高校教員) 28名 MAP研修会受講者数(平成22年度:472名) 「みやぎアドベンチャープログラム:MAP」とは課題解決型体験学習法の一つである「PA(Project Adventure)」の考え方や手法を取り入れた宮城県独自の教育手法 ・スクールカウンセラーの全校配置(H15年度~) ・生徒・保護者・教員に対してカウンセリングを行う。(H21年度:10,709人) ・特別支援コーディネータの全校設置(H20年度~) ・教職員向け研修の実施状況 H22年度:●●校 ●●名が受講 ・「進路指導地域拠点形成事業」(H19~21年度→11校) ・「就職推進校モデル事業」(H18~20年度→3校) ・就職達成支援事業(H21年度~) ・進路探求ワークショップ(対象:高1・2年生) ・就職達成セミナー(対象:卒業学年) ・進路指導担当者研究会(対象:教員) 等 ・県内●●名の生徒が●●社の事業所にて職場体験・体験活動実施(平成21年度)	○進路実現に必要な知識を定着させている。 ○習得した知識を現実の事象に適用したり、様々な知識を組み合わせて分析・考察できるよう育成している。 ○コミュニケーション能力、良好な人間関係を構築する力、自省的な態度、自尊感情を育成している。 ○生涯にわたって学び続けている力を育成している。 ○教員の指導力を向上させている。	【*再掲】 ○多様な生徒それぞれの希望に対応した学校選択・教育機会が確保されているか。 ・普通科・専門学科の配置バランス ・学力階層に応じた教育課程の編成 ・志望倍率 ・通学時間・手段 ・修業年限の弾力化の必要性 ○教育課程に見合った教員の指導体制が整備されているか。 ・教員数 ・教育の指導力向上に向けた取組の状況 ・特別な支援を要する生徒に対する指導体制の整備状況 ・地域、大学、産業界等の教育資源の活用状況	【*再掲】 ○教育の質が保証されているか。 ・各校の教育目標 ・学力の推移 ・授業の理解度 ・学習内容の定着度 ・進路実現に必要な学力の保証 ・中高接続、高大接続 ・キャリア教育の実施状況 ・生徒指導の実施状況 ・部活動の実施状況 ○多様な生徒の能力を伸ばすことができる教育課程が編成されているか。 ・習熟度別授業の実施状況 ・学び直しカリキュラムの実施状況 ・補習の実施状況 ○生徒・同窓生の学校・授業に対する評価 ・入学志願者数・倍率、定員充足率 ・生徒が受けたい授業の内容 ・進路達成意欲の醸成 ・進路目標の達成 ・中途退学者の推移 ○キャリア教育の質の保証 ・主体的に進路を選択する能力・態度の育成 ・社会人講師の活用状況 ・インターシップの実施状況

新しい学習指導要領(H15~)
「ゆとり」「生きる力」

(1)国際化、情報化への対応
(2)総合的な学習の時間(国際理解、情報、環境、福祉・健康)の創設
(3)選択学習の幅の拡大(普通科必修38→31)
(4)授業時数の縮減(80以上→74以上)
(5)個に応じた指導を充実させる。
(6)体験的・問題解決的な学習活動を重視する。

新しい学習指導要領(H21告示)
「生きる力」

(1)確かな学力
基礎・基本を確実に身につけ、いかに社会が変化しようと自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
(2)豊かな人間性
自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやるや感動する心
(3)健やかな体
たくましく生きるための健康や体力

検証の視点	社会背景 環境変化	現行の将来構想期間における高校教育改革の取組			期待される成果(アウトカム)	検証項目の候補(案)						
		施策目的	取組施策(目標)	取組施策(アウトカム)		教育庁	各高校					
○学校経営	○学校評価ガイドライン(H18策定、H20改訂) ○各学校の自主性・自立性の確保と、「開かれた学校づくり」を学校経営の前提条件として、「特色ある学校づくり」をする、という理念により高校教育改革の取組が進められた。	多様な主体と連携し、地域とともに生きる高校づくりを進める。 ・学校の説明責任を果たす。 ・学校間・地域・企業等との連携を強化する。	学校評議員制度・評価システムの導入	○すべての高校への学校評議員を置くことができるための環境整備に努める。 ○実効性のある評価システムの在り方を検討する。	・学校評議員の設置率(H21年度:100%) ・すべての県立高校において毎年度末に学校評価を行い、県教委に報告している。 ・「学校評価支援システム」の導入、システム研修の実施	○地域の意向・ニーズを踏まえた学校づくりをしている。 ○学校経営の「改善の循環」の実現のための措置を講じている。	○学校評価による改善の実績のチェックを含め、評価の質の向上に向けた体制が整備されているか。 ○効果的・効率的な学校経営のための支援・指導体制は整備されているか。 ○行政評価、学校評価の結果を、教育施策の立案・見直しに当たって有効に活用しているか。	○校長の学校経営のビジョンが明確であり、かつ教員にも共有されているか。 ・校長の学校経営方針 ○PDCAサイクルによる学校経営が行われているか。 ・学校自己点検・自己評価の状況 ・第三者評価 ○学校が発信する情報は伝わっているか。 ・学校の情報発信(HP、ニューズレター等)の状況				
			生徒による授業評価の充実	○生徒による授業評価の充実を努める。	・生徒による授業評価の実施(平成21年度:●●校中●●校(●●%))							
			日常的な教育活動(授業や学校行事)の場の保護者や地域の人々が参観できるようにする。	○学校自由見学日の設定	・学校公開日の設置校 H14年度:60.9% → H19年度:100% ・授業参観可能日数(平均) H14年度:0.5日 → H19年度:9.1日 → H21年度:●●日							
			インターネット等を活用した学校情報の発信	○インターネットや印刷物等を活用した学校情報の発信	・ホームページの開設校:100%(H●●年度～)							
			学校施設の開放	○校庭や体育館等の学校施設を地域に開放する。	・学校施設の開放校 H15年度:87% → H19年度:85% → H21年度:82%							
			社会人の授業聴講制度の導入	○社会人の授業聴講制度を導入する。	・科目履修生受入可能校:貞山高校、東松島高校、田尻さくら高校 ・社会人授業聴講生受入校:利府高校(2科目) ・「みやぎ県立大学講座」(県民開放講座)の実施(H22年度:24校)							
			高校間の単位互換制度の導入	○高校間の単位互換制度の導入により、専門高校と普通科高校の学校間連携を図り、特色ある科目の相互履修等ができるように努める。	・仙台一高通信制と貞山高校との定通併修							
			他の教育機関との人材交流	①社会人講師制度の拡充に努める。 ②民間の教育機関との交流を進める。	・社会人講師の活用 県立高校において延べ1,203回の実施。 講師:大学教授、会社役員、工場長、専門学校講師等 ・予備校での教員研修の実施							
			教育諸条件を整備する	教職員の配置及び学級定員等の検討	○習熟度や少人数指導等の加配を活用し、柔軟な学級編成ができるよう努める。				・教員加配 習熟度加配による教員配置(H20年度:147名) ・習熟度別授業の実施(H21年度:●●校(●●%))	○教員の資質を向上させるための体制を整備している。 ○計画的・効率的な施設・設備整備を進めている。 ○多様な生徒の受入態勢を整備している。	○教育資源を合理的に配分しているか。 ・教員配置状況 ・教員の研修の実施状況 ・学校施設・設備の状況	○必要かつ有効な職員研修が実施されているか。 ○効果的・効率的な学校経営が行われているか。
			教員研修制度の充実	①研修の実施 ②社会体験研修等の実施に努める。	・「教職員キャリアアッププログラム事業」の実施(H22年度:のべ●●名受講) ・教職経験者研修 ・職能研修 ・長期研修 ・教職大学院派遣研修 ・長期社会体験研修							
学級減に伴う空き教室の有効利用	○選択教室やカウンセリングルームへの転用	・空き教室の活用 ・習熟度別授業、カウンセリング、生活指導などに活用										
新学習指導要領実施に向けた条件整備	○コンピューターの整備	・ネット及びコンピュータの整備 ・教科「情報」のためのインターネット接続状況(H19年度:100%)										
	○普通教科・専門教科「情報」・「福祉」の担当教員の養成と確保	・「情報」・「福祉」担当の教員の確保状況 ・講習の実施によりほぼ必要な数は確保されているものの、一部免許外での担当や講師による担当がある。										